

第4回 世田谷グルマンサミット前日

ひとくちの感動が人と街と未来をつなぐ美味しい焼き菓子づくり

世代と地域をつなぐ食のイベント「第4回世田谷グルマンサミット」の前日に、イベントで販売する『美味しい焼き菓子』を作成する活動を行いました。応募者50名の中から当選された20名が参加しました。

冒頭、教育委員会より熱中症などに対する諸注意、連絡事項の後、和やかな雰囲気の中で始まりました。



開会の様子

初めに、東京山手調理師専門学校の秋元氏から明日のグルマンサミットについての説明とハローキャリアワークで販売する焼き菓子のテーマ「ひとくちの感動が人と街と未来をつなぐ『美味しい焼き菓子』をつくる」についての話がありました。その後、講師の八尾綱紀先生（ホテルで製菓長を務めたやさしいパティシエ）とサポートしてくださる専門学校の学生古川望那さんの紹介がありました。そして、各グループ内で参加者の自己紹介（今回は、インターンシップとして、昭和女子大学の交換留学生2名、区職員PT2名が各グループに配置）が行われました。そして、秋元氏から「調理するとき絶対起こしてはいけない『食中毒』」についての話がありました。食中毒は、家庭でも注意することですが、販売を行う際は、さらに意識して4つを重視するようにとのことでした。そ



自己紹介

れは「こけてみて」で「①こは、こころがけ」「②けは、健康管理」「③ては、手洗い」「④みは、みだしなみ（清潔で好印象）」とのお話がありました。

そしていよいよ、今日の作業です。作る焼き菓子は「スノーボール」で、3つを1袋にするとのことでした。そして、3つのスノーボールのうち、2つをどんなスノーボールにするか決めることになりました。取り組む活動は3つありました。1つ目は、クッキーの名前を決めることです。各グループで一人一人考え、その案を講師の八尾先生が決めるとのことでした。2つ目は、クッキーのポスター作成。3つ目は、クッキーづくりです。



先生方の紹介



話合いの様子



部屋を移動して、グループで作業することになりました。この作業に、八尾先生に専門学校の先生3名が加わった4名、さらに留学生2名、区職員PT2名が入り、各グループ7名で作業に取り掛かりました。子どもたちは、グループで考える中、各先生や留学生、職員から助言をもらい、いろいろな案を出しました。



時間になりそれぞれが発表したもののの中から、1つは「ディズニー映画に登場するキャラクター(写真からご想像ください)」、2つ目は「ハーフ&ハーフ(チョココーティングと抹茶パウダー)」、3つ目は「ノーマル」と名前が決まりました。その後「ポスターづくり」にです。ポスターには、「スノーボール」「3個入り、1袋200円」そして、「キャッチフレーズ」を入れることが伝えられました。一人ずつ作成するグループや、グループで共同して1枚作成

するグループもありました。時間の少ない中での作成だったため、完成したのは6枚程度で、残りは持ち帰り、明日までに作成してくることにしました。

次の「スノーボール作り」です。エプロンや三角巾、



考えの発表

つの重さを15グラムに計り、オーブンで焼く大きな盆に並べていきました。グループ内で手分けをして、1つ1つの重さを計る人、それを丸める人と手際よく進めていました。盆に並べ終わると先生がオーブンに入れました。焼きあがるまでにさらに、もう1皿作りしました。全部で約600個以上作りしました。焼きあがった中から、先生がチョコレートを使ったデコレーションの描き方をそれぞれに教え、各グループで作りました。その後、次に焼きあがったものは、ハーフ&ハーフで

マスクなどを準備して、製菓実習室に向かいました。まずは、手洗いです。皆丁寧に指先まできれいに洗っていました。そして八尾先生から「スノーボール」の作り方を示していただき、それぞれ手順を覚えていました。1



ポスター作り

す。これも先生がチョコの付け方、抹茶のかけ方を示してくださり、各グループで行いました。そして、冷めたものを袋に詰めました。終わりの時間が近くなり、集合写真を撮り、明日の集合時間を伝え、今日の活動を終えました。

